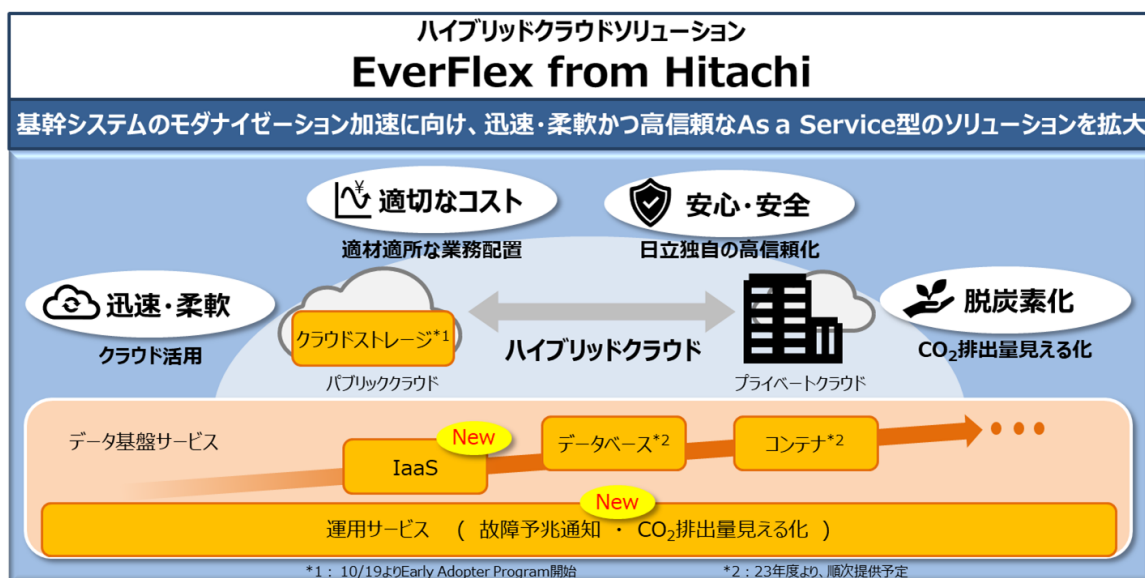


2022年10月19日
株式会社日立製作所

基幹システムのモダナイゼーション加速に向け、ハイブリッドクラウド事業を強化

ハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi のサービスを拡充



EverFlex from Hitachi における強化ポイント

株式会社日立製作所(以下、日立)は、基幹システムのモダナイゼーション加速に向けハイブリッドクラウド事業を強化し、迅速・柔軟かつ高信頼な As a Service 型のソリューションを拡大します。

日立は、2021年10月よりハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi(以下、EverFlex)を提供開始^{*1}し、長年ミッションクリティカルな基幹システムを支えてきた日立の技術やノウハウをもとに、お客様の重要なデータを保護しながら、安心・安全なクラウド活用を可能にするハイブリッドクラウドの実現に向け、さまざまなデータ基盤サービスを展開してきました。

今回、ハイブリッドクラウドにおける業務システムの安定稼働と可搬性を向上するため、データ基盤サービスに、高い信頼性を備え、迅速かつ柔軟に利用できる IaaS(Infrastructure as a Service)を新たに追加し、2023年2月28日より提供開始します。本サービスを利用することで、データの高い機密性を確保しつつ、業務システムでプライベートクラウドとパブリッククラウドを適材適所で使い分けながら、使用量に応じた課金で利用できます。これにより、導入・運用のコストを適正化しながら、ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応することが可能です。

また、本サービスに先がけ運用サービスを強化し、業務の継続性を高める故障予兆通知や、カーボンニュートラル達成に向けた CO₂ 排出量の見える化など、経営課題解決に貢献するサービスを、2022年10月31

日より販売開始するとともに、日立のクラウドストレージ^{*2}の先行体験が可能な Early Adopter Program を本日より開始します。本プログラムの利用により、お客さまは業務システムにクラウドストレージを組み合わせた価値を創出するプロセスをいち早く実施することができ、ハイブリッドクラウドの本格導入に向けた検討期間を短縮することが可能になります。

今後、EverFlex のデータ基盤サービスにおいて、データベースやコンテナ環境を従量課金型で利用できるサービスを拡充^{*3}するとともに、機密性の高いデータを扱うプライベートクラウドと、迅速性・柔軟性に優れたパブリッククラウドの一元的な運用の自動化やセキュリティ対策を包括的に支援するサービスを展開するなど、ハイブリッドクラウド事業を継続的に強化します。これらにより、基幹システムのモダナイゼーションを進め、新事業の迅速な立ち上げなどによる企業のビジネス成長に貢献します。

*1 ニュースリリース：2021年10月5日「ハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi を提供開始」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2021/10/1005.html>

*2 「Hitachi Virtual Storage Software Block」をハイブリッドクラウドに展開。2023年度第1四半期より販売開始予定。

*3 2023年度より順次提供予定。

■背景

デジタル化の進展に伴い、データドリブンな社会の実現に向けた取り組みが加速する中、社会基盤を支える企業の基幹システムにおいても、モダナイゼーションが強く求められています。その一環として、データの機密性や安全性を保証しつつ、パブリッククラウドのサービスを業務システムで適切に活用できるとともに、迅速性や柔軟性を享受できるハイブリッドクラウドへの期待が高まっています。さらに、これらのクラウド利用の拡大による、環境負荷の低減も求められています。

■EverFlex の強化ポイント

1. 高い信頼性と迅速性・柔軟性を兼ね備えた IaaS をハイブリッドクラウドで提供

業務システムの実行基盤である IaaS^{*4}を、データ基盤サービスのラインアップに追加し、提供します。これにより、従来、機密性などの懸念から基幹システムで稼働させてきた業務アプリケーションの一部を、パブリッククラウドも活用しながら安心・安全に実行することが可能となり、データ分析や機械学習など豊富なパブリッククラウドサービスとの連携を促進できます。また、お客さまは、事前検証済みの複数の推奨構成の中から、用途に応じた構成を選択するだけで、ハイブリッドクラウド環境の迅速かつ容易な導入が可能です。事業環境の変化に合わせて容易にリソースを拡張・削減でき、従量課金型で利用できるため、大規模なシステム再構築による投資リスクを避け、導入・運用コストの低減も図ることができます。さらに、万が一の障害発生時や性能問題などが発生した場合、日立が窓口となりハイブリッドクラウド環境のサポートをワンストップで対応し、クラウド事業者やソフトウェアベンダーなどのパートナーとも連携しながら迅速に問題を解決することで、お客さまの運用負荷を軽減します。

*4 VMware vSphere®を使った仮想マシン環境から提供開始。パブリッククラウド側は Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS など、日立のパートナークラウドを活用。

2. 業務継続性の向上に貢献する故障予兆通知や問題解析の迅速化

IaaS の可用性をさらに高める「安心・安全プラン」を、運用サービスとして提供^{*5}します。日立の長年にわたるハードウェア開発で蓄積してきたノウハウを活用し、故障予兆を高精度に検知するとともに、メンテナンスを適切なタイミングで提案することで、IaaS の可用性の向上に貢献します。また、問題が発生した際、日立の経験豊富なエンジニアが、蓄積したログ情報と過去の障害対応実績から迅速に原因を究明し、IaaS の停止時間を極小化します。今後、AI を活用して故障予兆検知の精度を向上するなど、可用性のさらなる向上を支援していきます。

*5 サポート対象はストレージ。その他の機器は 2023 年 3 月より順次サポート予定。

3. IT 機器やシステム単位の CO₂ 排出量の見える化により、脱炭素化の推進に貢献

専用ポータルのダッシュボードで、IT 機器やシステム単位での CO₂ 排出量を見える化し、脱炭素化推進を支援する「サステナビリティプラン」を、運用サービスとして提供^{*6}します。各システムを構成するストレージ、サーバー、スイッチの稼働状況や消費電力を IT 機器単位で確認できるため、機器ごとの CO₂ 排出量削減計画の策定や実行状況の把握に貢献します。

今後、見える化した情報を活用し、情報開示要求に伴う環境報告レポートの作成支援や、CO₂ 排出量削減支援なども計画しており、お客さまのカーボンニュートラルの取り組みに貢献していきます。

*6 サポート対象はストレージ。サーバー、スイッチ、システム単位は 2023 年 3 月よりサポート予定。

■クラウドストレージの Early Adopter Program について

日立では、クラウドストレージを 2023 年度第 1 四半期に販売開始する予定です。日立ソフトウェア・デファインド・ストレージ「Hitachi Virtual Storage Software Block」をハイブリッドクラウド環境に展開し、高信頼なクラウドストレージサービスを実現します。プライベートクラウドの日立ストレージとの高い親和性を持ち、ハイブリッドクラウド環境での柔軟・容易なデータ運用を可能にします。

クラウドストレージの販売に先がけて提供する Early Adopter Program では、AWS 上に日立のクラウドストレージのお客さま専用環境を用意し、日立のエンジニアによる技術支援のもと、お客さまが想定する業務アプリケーションとの接続検証や、実際のデータを用いた動作検証を行うことが可能です。本プログラムを利用することで、より具体的な導入効果や投資規模を早期に把握できるため、本格的な導入までの期間を短縮できます。

■ハイブリッドクラウドソリューション EverFlex from Hitachi の拡充に関する概要

| 日立従量課金型データ基盤ソリューション | 価格(税別) | 提供開始時期 |
|--|--------------------|--------------------------------|
| データ基盤サービス IaaS 【新規】 | 個別見積 ^{*7} | 2023 年 2 月 28 日 |
| 運用サービス - スタンダードプラン - 安心・安全プラン 【新規】 - サステナビリティプラン 【新規】 | 個別見積 | 2022 年 11 月 30 日 ^{*8} |

*7 提供開始時に社外 WEB に公開予定。

*8 サポート内容によって異なるため、個別にお問い合わせください。

■EverFlex from Hitachi のホームページ

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/>

■Hitachi Social Innovation Forum 2022 JAPAN Plus での紹介について

日立は、2022年10月25日(火)～27日(木)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2022 JAPAN」の関連セミナーとして、会期終了後に事業課題を解決する個別の取り組みやソリューションについて紹介する「Hitachi Social Innovation Forum 2022 JAPAN Plus」を実施予定です。「EverFlex from Hitachi」は、本イベントにおいて11月15日(火)～12月16日(金)に配信するセッション「DXを加速する安心・安全なハイブリッドクラウド～AWSとの協創取り組みご紹介～」 「脱炭素社会目前！ 変革を迫られるITインフラの課題とその解決の道筋」で紹介する予定です。

詳しくは、オフィシャルサイト(<https://www.service.event.hitachi/>)をご覧ください。

■商標注記

- ・Amazon Web Services、AWS、および Powered by AWS ロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・VMware、VMware vSphere[®]、VMware Cloud[™]は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・EverFlex は、Hitachi Vantara LLC の商標または登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。金融・官公庁・自治体・通信向け IT サービスやお客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエナジー&モビリティ」、産業流通、水インフラ、ヘルスケア、家電・空調システム、計測分析システム、ビルシステムなどの幅広い領域でプロダクトをデジタルでつなぐ「コネクティブインダストリーズ」と、自動車・二輪車の分野で先進技術を提供する「オートモティブシステム」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。グリーン、デジタル、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2021年度(2022年3月期)の連結売上収益は10兆2,646億円、2022年3月末時点で連結子会社は853社、全世界で約37万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上